

〈実践編〉納戸④

納戸Aの次は納戸Bを片付けていく。仕事の備品はラックを使って使用頻度ごとにひとまとめ。一角に趣味スペースを確保した。

冷蔵・冷凍庫は
1カ所に集めて
スタイリッシュに



◀片付け前は納戸Bに備品が溢れ、どこに何があるのかを把握するのが難しい状態だった。片付けを始めると、探していたものが出てくることも!

1 配置は動線を意識 趣味スペースも確保

クローゼット付きの納戸Bは、仕事の備品置き場として活用。クローゼットに入っていた冷蔵庫と納戸Bに点在していた冷凍庫を壁に沿って並べることで、納戸内をすっきりと見せる。1カ所にまとめたことで取り出しやすくなった。一角にはテレビや健康器具などを配置。空き時間に趣味を楽しむスペースとして活用していく。

空きスペースの
有効活用で
趣味を満喫



少しの工夫で驚くほど快適に!
vol.68

くらしの 整理収納術

整理収納アドバイザー・住まい方アドバイザー 佐藤江理子さん

Profile/1974年酒田市出身。(株)佐藤江理子建築工房代表取締役。二級建築士、インテリアコーディネーター、整理収納アドバイザー1級、住宅ローンアドバイザーの資格を持ち、お金のことから間取り・インテリアなど家づくりの全てを担当している。近藤典子暮らしアカデミー第4期生で山形県唯一の「住まい方アドバイザー」。



◁元々は冷蔵庫置き場/



◁4段ラックを活用/



◁見える化で把握/



2 使用頻度が高い物は取り出しやすい場所へ

容器やコップなどの細かい備品は、4段のスチールラックを活用してクローゼットに収納。上から3段目までは使用頻度が高いもの、使わないものは一番下にしまい、一目で在庫が把握できるようにした。枕棚には、季節ものの備品を透明ケースに入れ、中身が見えるよう収めた。